

2023年度_医師及び医療関係職と事務職員等との役割分担計画

当院では医師の労働環境の改善について負担軽減を目指し、下記の項目について取組を行っております。

病院勤務医の負担軽減・処遇改善に対する具 体的な取組項目	具体的な内容
医師と事務職員との役割分担	
外来受付	初診時の問診票の配付、電話対応、紹介状等の確認、診断書様式の受け取り、医師の補助業務など
診療予約	初診予約・予約変更（予約センター）
検査説明・同意書取得	医師に代わって日常的に行われる検査に関する定型的な説明、同意書の受領を行う。 （CT、MRI、内視鏡、エコー等⇒説明動画へ）
かかりつけ医への紹介（逆紹介）	逆紹介時の予約
手術連絡	手術日程の患者様への連絡
入退院連絡	入退日の連絡、または、退院が決まった際に、患者様、ご家族等に連絡して、退院日を決定する。
入院時のオリエンテーション	医師等から入院に関する医学的な説明を受けた後の患者様又はそのご家族等に対し、療養上の規則等の入院時の案内を行い、入院誓約書等の同意書を受領
意見書、診断書、保険書類の作成補助	記載可能な箇所を記入後に担当医師に確認依頼を行う。
診療情報提供書（紹介状）	医師の口述を代行記載、医師は内容を確認し承認する。
症例実績や各種臨床データの整理	診療情報管理士において各種診療統計やがん登録等の入力およびデータ整理を行う。なおがん登録については一部、医師事務作業補助者が担当する。
医師と看護師等医療職との役割分担	
（看護師）	
初診時の予診	外来看護師が問診票を用いて予診を実施し、既往歴、アレルギー歴、薬歴を含めた聴取を行う。
検査手順説明	外来看護師が医師に代わって予定検査の手順の説明を行う。
入院説明	看護師が医師に代わって入院の説明を行う。ただし、緊急入院患者に対しては医師の説明を補足する形で追加説明を行う。
静脈採血	外来・病棟において静脈採血は看護師を配置して行う。
静脈注射および留置針によるルート確保	技術研修を修了した看護師が医師に代わって静脈注射および末梢静脈ルート確保を行う。
カテーテルの留置、抜去等の各種処置行為	医師の指示の下、診療の補助として行う。（小児・新生児に対して行う場合も含む。） ・尿道カテーテル留置 ・末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの抜去 ・手術部位（創部）の消毒 ・創傷処置 ・軟膏処置 ・光線療法の開始・中止 など
薬剤の投与量の調整	医師による事前の指示に基づき、その範囲内で投与薬剤の調節を行う。判断が困難な場合は医師に連絡し指示を仰ぐ。
特定行為の実施	技術研修を修了した看護師が、その都度医師の指示を求めることなく、医師が予め作成した手順書（医師による包括的指示の形態の一つ）により行う ・人工呼吸管理や持続点滴中の降圧剤 ・利尿剤等の薬剤の投与量の調整 ・中心静脈カテーテルの抜去 ・末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入等
（薬剤師）	
服薬指導	医師の指示の下、薬剤師が定期的に副作用のチェックと服薬状況の確認を行い、入院中の患者に対して服薬指導を行う。また、必要に応じて医師に処方内容の変更を助言する。
持参薬の鑑別	医師の指示の下、入院患者の持参薬について鑑別と服薬状況の聴取を行い、医師に情報提供する。
抗がん剤の管理	抗がん剤のミキシングは薬剤師が行う。
薬剤の投与量の調整	・医師・薬剤師等により事前に取り決めたプロトコールに基づく。 ・投与量・投与期間（投与間隔）の変更を行った場合は、医師、看護師等と十分な情報共有を行う。
処方確認	電子カルテおよび調剤システムにおいて禁忌や用法・用量等のチェックを行い、必要に応じて医師に情報提供を行う。
（臨床検査技師）	
検査レポートの作成	生理検査レポートに関しては測定値など生理検査技師が記入し、医師は結果を確認する。
静脈採血	検査部外来中央採血室業務
医療機器の管理	医療機器安全管理者である臨床検査技師が医療機器の管理を行う。
心臓・血管カテーテル検査、治療における直接侵襲を伴わない検査装置の操作	超音波検査（血管内超音波検査を含む）や心電図検査、心腔内・血管内の血圧等の観察・測定等における直接侵襲を伴わない検査装置の操作を行う。

(診療放射線技師)

撮影部位の確認・検査オーダーの代行入力等	・放射線検査について、撮影部位を確認して検査オーダーを代行入力する。 ・追加撮影が必要となった場合に追加撮影のための検査オーダーを代行入力する。 診療放射線技師が実施した検査画像に異常所見が認められた場合に、その客観的な情報について医師に報告 (ただし、当該所見に基づく病状等の判断は医師が行う。)
放射線検査等に関する説明、同意書の受領	・放射線検査等の患者への説明 (放射線検査等の目的や必要性、具体的な手法、放射線被曝、造影剤の副作用、安全性など) ・必要に応じて同意書を受領

(栄養士)

入院食事オーダーと調整	医師の指示の下、栄養士により食事入力補助を実施する。栄養士は疾病、栄養状態、嚥下状態に合わせた食事内容の変更に関して医師に助言する。
栄養指導	医師の指示の下、管理栄養士が栄養指導を行う。(外来・病棟)

(臨床工学技士)

医療機器の管理	医療機器の取り寄せ・管理・補充・返却
血液浄化装置の穿刺針その他の先端部の表在化された動脈若しくは表在静脈への接続又は表在化された動脈若しくは表在静脈からの除去	
生命維持管理装置を用いて行う心臓又は血管に係るカテーテル治療における身体に電氣的刺激を負荷するための装置の操作	

看護師と他職種との役割分担

ベッドメイキング	患者退院後の空きベッドおよび離床可能な患者のベッドメイキングは看護補助者が行う。
入院患者の食事介助	食事介助は主に看護師が行うが、介護福祉士も協働して介助を行う。